



# 三条北ロータリークラブ週報

意識を喚起し――

進んで行動を

|              |
|--------------|
| 例 会 日        |
| 2000. 7 . 11 |
| 累 計 No 663   |
| 当 年 No 2     |

国際ロータリー会長 フランク J. デ布林 第2560地区ガバナー 宮川糧平

会 長／山 崎 勲  
幹 事／外 山 晴 一  
SAA／五十嵐 茂

例会日／火曜日 12:30～13:30  
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX 34-8114  
事務局／三条市西四日町3-15-34  
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX 33-8972

行 事： 卓話「カマキリの予知能力に迫る地中からのメッセージ」

第2560地区社会奉仕委員（株）酒井無線代表取締役

工学博士酒井與喜夫様（長岡東RC）

出 席： 本日の出席 53名中 33名

先々週の出席率 53名中 49名 92.45%（前年同期96.15%）

【6月の出席状況:会員数53名 例会数4回 平均出席率83.85%（前年同月88.42%）】

先週のメークアップ： 7月5日 三条RCへ 梨本清一さん

6日 宇都宮西RCへ 中條耕二さん

8日 地区社会奉仕委員会（柏崎）出席 高橋彰雄さん

8日 五十嵐川クリーン参加（敬称略） 五十嵐茂、石川友意

大野新吉、落合益夫、小林繁男、佐藤弘志、坂内康男、山崎 勲

10日 三条南RCへ 中條耕二さん、山崎 勲さん、外山晴一さん

ビ ジ タ ー： 三条南RCより 鈴木紈彦さん

ゲ ス ト： 第2560地区社会奉仕委員（株）酒井無線代表取締役 工学博士酒井與喜夫様

（長岡東RC）

会 長 挨 拶： 山崎 勲



皆様今日は、本日はゲストとして長岡東RC第2560地区社会奉仕委員（株）酒井無線代表取締役工学博士酒井與喜夫様、三条南RCより鈴木紈彦さんをお迎えしての本年度2回目の例会になります。

今月は識字率向上月間です。識字率とは文字の読み書きができることです。どのようにして識字率を上げるのかはよく分かりませんが、多分世界中で学校教育が充実していない国に何らかの援助をすることを指して居るのではないのでしょうか。日本に置いても決して識字率10

だからもう少し、試作的でないものを作れないかということで、仕事を進めております。

水田や粘土質はズブズブッという音、山崩れはガーガーという音がするんですね。だからこれは、色んな音を拾うことが出来るので、いいのではないかと考えております。

ものはついでに、浅間山や草津の音も拾ってきたのですが、あそこに住んでいると思うと恐ろしい感じがしました。ズーンズーンという音がするんです。煮えたぎった湯が鍋の中でガタつくような、ガタガタガタッという音がするんです。休んだかと思うと、またその繰り返しをするんです。焼山の方へ行った時は、蒸気が出る時ヴォーンヴォーンとプロペラ機に乗っている様な音が出てました。

これはまた、地震の探知にもなる可能性も出てきたということです。

そういうことを動物たちは正確に探知しながら生活しているのですから、カマキリの春先の孵化もいい天気を選んでいます。卵のうから孵化するこの時だけは朝になります。これも地中の音を聞くと、4時ごろから音が大きくなり始めまして、7時ごろ孵化するんですね。すると3日くらい雨も風もない、穏やかな天気が続くのです。まず一匹が顔を出しますと、後を続くように30分くらいで200匹は出てきて、独り立ちが始まるわけです。昆虫や動物は、その日の天気を非常に正確にとらえているということです。

とりとめの話で、所定の時間になってしまいましたが、大変長時間にわたりご静聴頂きましてありがとうございました。

会 員 の 声： 阿部誠一郎会員

今年もう半年が終わりましたが、十二支の第五位「龍」の話です。角は鹿、頭はラクダ、目は鬼、耳は牛、うなじは蛇、腹は蟹、ウロコは鯉、爪は鷹、掌は虎のようになっております。又ウロコの数81枚と云われています。そして首のところは、逆さウロコが生えていてこれに触れると激しい怒りを表わします。「逆鱗に触れる」という言葉は、ここから生まれたそうです。

中国の龍は、麒麟、鳳凰、亀と共に四霊、又は玄武、白虎、鳳凰、青龍で四神と呼ばれ縁起のよい動物とされています。

日本では龍は自然信仰と結び付き、各地にさまざまな龍神信仰を生みました。嵐の後一夜にして生まれる湖、沼、一変する地形などから龍神の存在は語られ、大滝やイナズマなどからその形が想像されたと言われています。

龍の色紙、掛軸、置物なら是非家の中に飾って下さい。縁起物です。

7月18日例会： 新入会員卓話「あらためまして石川です」 石川友意会員

7月25日例会： 卓話 馬場直次郎会員

8月1日例会： 会員拡大増強月間 会員増強委員会

8月8日例会： 1年交換派遣学生を迎えて 国際奉仕委員会

8月15日例会： 休会（お盆）

0%ではありません。文盲率が上がることはホームレス・ピープルの増大や、犯罪の増加、福祉厚生予算の増加の一因になっています。

8日の五十嵐川クリーンデーは雨のため中止になりましたが、北クラブは雨天決行の指示がありましたので、8名が集合致しました。大変ご苦労様でした。我々だけでなく市長も雨天決行の連絡で本部に詰めておりましたので、実行本部の連絡方法の不徹底などが重なったのではないのでしょうか。次回は16日に行われる事になっておりますので、都合の付く方は16日午前6時半までに一ノ木戸側の鉄橋の下に集合してください。車を駐車するスペースは十分にあります。

続いて9時半から中央公民館で行われた三条市青少年健全育成市民大会にS A Aの五十嵐さんと出席いたしました。三条市青少年健全育成市民会議会長、斎藤正さんの挨拶で始まり、来賓祝辞のあと、講演「孟母の教え」、映写「親が変われば子もかわる」のあと大会宣言は次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長することは、私たち市民すべての願いであります。しかしながら、今年に入り刃物による殺傷事件や凶悪、粗暴な非行、薬物乱用、いじめ、性の逸脱行為等の問題行動が多発するなど、誠に憂慮される状態にあります。私たちは、この現状を厳粛に受けとめ、今こそ親や大人の責任を自覚し、自らの姿勢を正し大人が変われば、子どもも変わるを考え、今年は、「子どもは宝」をスローガンに活動を推進し、家庭、地域、社会全体が、先ず、大人が変わろうの気運を高め、青少年を健全に育成することをここに宣言します。と大会宣言を採択し終了しました。続いてパレードは雨のため公民館のステージで行われました。

最後に五十嵐川クリーンデーと三条市青少年健全育成市民大会は行事内容が似通って居て、同一の行事かと思っておりましたが、終わってから主催団体が違うことが分かりました。

**幹 事 報 告：** 山中副幹事

- ・高木直前ガバナーより ガバナー事務所閉鎖のお知らせ及び協力に対する御礼 7/31をもって閉鎖させていただきます
- ・宮川ガバナーより 第1回会員増強セミナー開催のご案内（大野会員出席）  
日時 2000年7月29日（日）12:00～  
会場 柏崎エネルギーホール
- ・ロータリーの友委員会より 「ロータリーの友」英語版お買い上げのお願い
- ・ロータリーの友事務所より 「健康ひとくちメモ」執筆のお願い
- ・宮川ガバナーより 第2560・2840地区インターアクト地区年次大会登録のお願い  
期日 2000年8月5日（土）～6日（日）  
会場 下越スポーツハウス
- ・日本ボーイスカウト新潟連盟より  
新潟連盟結成50周年記念式典、記念営火開催のご案内並びに出席のお願いについて  
日時 平成12年8月4日（金）18:30～

確にとらえているのです。とは言っても、失敗例は多少はあります。多い年で1000個に1個、少ない年で3000個に1個と非常に高性能です。それも彼等は自分住んでる足元しか考えてないわけですので、そこに何か理由があるんじゃないか、それに積雪予測なんかも・・・。

大和町の2 m50cmの積雪を体験したカマキリの卵を、春先に、中ノ島の建設省除雪基地へ移動させ、孵化するのを待ちました。そして秋になり、産卵する高さが、さてどうなるか？と見ておりましたら、ちゃんと中ノ島周辺に合う高さに産んでいました。その他、川口に関しましても、きちんと地域に見合った所をピタリ。

寺泊の膝下以下にあった卵も、妙高・湯沢へ移動したところ、2 m50cmにちゃんと産んだのです。

そんなことで、色々調査をして6年目になりましたら、地球の中から音が出ていることに気付いたのです。カマキリはキリギリス同様、体長の3/4くらいの長さの触覚を持っているわけですが、あの触覚にはどんな役目をしているのか？当然、身を守るためのセンサーということは間違いないですけど、顕微鏡で見ますとアレが50個つながっているのです。携帯で言えばアンテナが50本出ているのと同じ。で、どうやら振動をつかんでいるみたいなのです。それじゃあ、その振動を聞くにはどうしたらいいのかと考え、振動を電気信号（センサー）に変えるものを自分で作りました。木の音が出るのは大体、梅雨明けから10月いっぱいくらいまで。天気が下り坂になると音は出ないのです。結局、天気が変化するのはその前に地球の中の水が移動し、音が変化してくれからなのです。すると植物が反応し、動物がまたそれをとらえます。平野部は5～6時間後、中山間地は4時間・山間地は2時間半後くらいに天気が変わってきます。カマキリはこの音を聞いていたのではないかと思われれます。

地下水の流れる時間は非常にゆっくりしており、平野部分においては年速で300m、笠掘あたりで雨が降り地下に染み込んだ水が、ここまでくるのには何年経っているかはわかりません。おそらく地下水であれば10年20年前の水を飲んでいるだろうということになるのかも知れません。

最近は温暖化と言われ、新潟県では大雨が降ると、危険地帯が6000ヶ所にも及ぶといわれています。そういう地滑りの地帯に行きますと、当然鳥は巣を作っていません。

人間の聴覚は30Hzが限界とされており、地滑りの音は非常に低い音（20Hz～50Hz）なので、聞き取れません。当然、地滑りは地下水がいたずらしているわけで、水が流れ、次に地面が滑るわけで、露出に応じて音が変化してきます。

しかしこのセンサーを1個、木に取り付けますと100mくらいカバー出来ます。面白いことにセンサー4個付けて三次元処理の計測を行うと、どの位置で、どの深さの根が切れたか。水はどの位置で、どの深さで流れているか。地面の滑っている音、これもどの位置どの場所だと、計算すればすぐわかるということです。そうして速い段階で、井戸を掘って水を抜いてしまえば、摩擦が減り、滑らないということになります。